



1年理数科フィールドワーク

5月23日（木）1年理数科の生徒を対象にフィールドワークを実施しました。上越教育大学から五百川 裕教授をお招きし、午前中に高田公園外堀南側遊歩道で自然観察を行いました。出発前に高田公園の歴史を学習したのち、16種類の植物の写真を先生から受け取り、同じものを探し採集してきました。午後は校内に戻り、植物の名前の同定の仕方、観察のコツなどを五百川教授から教えていただき、標本作成を行いました。

普段何気なく見ている雑草でも、よく見ると様々な特徴があることに気がつき、熱心に採集・観察する生徒の様子が印象的でした。



～生徒の感想より～

- 草・花は脳がないのに、自分の子孫を残すために進化していく彼らに感動しました。形・色にムダなものはないと感じました。
- どんな植物でも共通点を見つけることが大切だとわかりました。そのため観察（観て察する）ことが研究する上で大きな一歩につながるのだと学びました。これからも道ばたに生えている雑草にも目を向けてみたいです。
- 自分から主体的に採集しながら、周りの友達や先生の意見も取り入れて活動に取り組めて良かった。小さい頃にしかふれていなかった植物の世界が見えてきて、も一度興味をもつきっかけになったし、とても面白かった。生物ってすごい！
- 身の回りには観たことがあるけど詳しく知らないものが多いが、実施に手で触れたりして学ぶことで、気づかないことを知ることができた。

2年生の課題研究が本格スタートしました

4月に発表を行った3年生に続き、2年理数科の課題研究も本格的に始まりました。6月18日（火）には、テーマ発表会が予定されており、どの班もそれに向けて予備実験に取りくんでいます。3年生の発表やポスターを活かし、よい研究を行ってほしいと思います。

